

平成 19 年 11 月

稲葉陽子 学位論文審査要旨

主 査 井 藤 久 雄
副主査 汐 田 剛 史
同 寺 川 直 樹

主論文

Peroxisome proliferator-activated receptor- γ ligand reduced tumor necrosis factor α -induced interleukin-8 production and growth in endometriotic stromal cells

(子宮内膜症間質細胞においてPPAR γ リガンドはTNF α 誘導性のIL-8産生と細胞増殖を抑制する)

(著者：大浜陽子、原田省、岩部富夫、谷口文紀、竹中泰子、寺川直樹)

平成19年6月 Fertility and Sterility 掲載予定

審 査 結 果 の 要 旨

抗炎症作用を有するPPAR γ リガンドが子宮内膜症間質細胞におけるTNF α のIL-8産生誘導と細胞増殖に及ぼす影響について検討した論文である。内膜症間質細胞にPPAR γ の遺伝子及び蛋白発現を証明し、PPAR γ リガンドのピオグリタゾン¹はTNF α によるIL-8産生誘導を減弱することで細胞増殖を抑制することを明らかにした。その作用機序として、NF- κ Bの核内移行阻害が考えられた。

本研究は新知見に富むものであり、その結果は生殖内分泌学研究に貢献するとともに学術水準を高めたものと認める。